

子どもの居場所づくり支援事業  
業務委託事業者選定会議の結果について

1 案件名称

子どもの居場所づくり支援事業業務委託

契約期間 平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

Aエリア 家っしー運営協議会

Bエリア なごみのうつわ運営協議会

Cエリア あすなろハウス運営協議会

Dエリア 応募なし

3 公募期間

平成31年1月4日～平成31年1月21日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬省略）

委員氏名	役職等
石田 慎二	帝塚山大学 現代生活学部 こども学科 准教授
吉田 祐一郎	四天王寺大学 教育学部 教育学科 講師 四天王寺大学短期大学部保育科 講師(兼任)
徳谷 章子	NPO 法人ハートフレンド代表理事 児童デイサービス・ハートフレンド管理者

(2) 選定委員会の開催日 平成31年2月28日

(3) 審査を行った事業者（各エリアごとに審査）

Aエリア 家っしー運営協議会 全1社

Bエリア なごみのうつわ運営協議会 全1社

Cエリア あすなろハウス運営協議会 全1社

(4) 審査基準

【審査項目】

実効性：提案した業務を確実に遂行できる運営体制がある。【配点20点】

専門性：提案した業務内容に、実効性・独創性・多様性がある。【配点30点】

現実性：実行可能な方法・計画・予算で立案されている。【配点20点】

効率性：所要経費の積算が妥当である。【配点10点】

効果性：成果の達成目標が明確であり、効果的である。【配点20点】

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）

Aエリア

審査項目	実効性	専門性	現実性	効率性	効果性	合計
<b>A社</b>	47/60点	67/90点	46/60点	23/30点	45/60点	228/300点
平均点（合計点÷委員数）						<b>76点</b>
委員評価	地域の他機関等とのつながり、連携は良好で熱意や誠実な姿勢が感じられた。 一人ひとりのコーディネーターのスキルを更に活かして専門性の向上を図られたい。 スーパーバイズ体制を今後どのように構築していくかが課題である。 こどもの意見や想いを十分にくみ取ることができる工夫や、子どもが主体となる場づくりの具体的内容を検討されたい。					
付帯意見	なし					

Bエリア

審査項目	実効性	専門性	現実性	効率性	効果性	合計
<b>B社</b>	53/60点	76/90点	52/60点	25/30点	49/60点	255/300点
平均点（合計点÷委員数）						<b>85点</b>
委員評価	事業実績を積み重ねており、子ども支援についての考え方がしっかりしている。中学を卒業しても居場所に戻ってくる子どもを増やすなど、今後更に発展していくことが期待できる。 様々な立場の方が関わっており、地域とのつながり、各関係機関との連携も良好。 この取り組みにより地域での子どもを支える視点が広がることや、活動に参加する子どもが安心して喜んで居場所にアクセスできることが期待される。 子どもの参加の様子、活動の意義など積極的に地域や外部に発信されることを検討されたい。					
付帯意見	なし					

Cエリア

審査項目	実効性	専門性	現実性	効率性	効果性	合計
<b>C社</b>	46/60点	67/90点	45/60点	23/30点	46/60点	227/300点
平均点（合計点÷委員数）						<b>76点</b>
委員評価	事業実績を積み重ねてきており、今後それを踏まえた発展を期待したい。 スペースの問題、人材確保の問題はあると思うが、居場所を必要とする子ども・家庭に応えられる体制の実現がなされるよう具体的な検討を図られたい。 子ども・家庭への支援だけでなく、この活動内容の啓発など地域福祉の推進の視点をもった取り組みが課題である。					
付帯意見	実施計画回数と見積額が合わない点について、資料の再提出が必要					